

データで見る福島市の健康(令和7年度・概要)

生活習慣病で亡くなる方が40～64歳では約6割

○死因順位(40～64歳)

順位	死因(40～64歳)	生活習慣病
1位	がん 33.3%	☑
2位	心疾患 12.5%	☑
3位	脳血管疾患 12.5%	☑
4位	自殺 7.7%	生活習慣病で58.3%!!
5位	肝疾患 4.4%	

※令和5年死因分類別死亡数
(人口動態調査票より選択死因分類別死亡数を市にて独自算出数使用)

生活習慣病にかかる人は40代から増加

○年代別生活習慣病の有病率

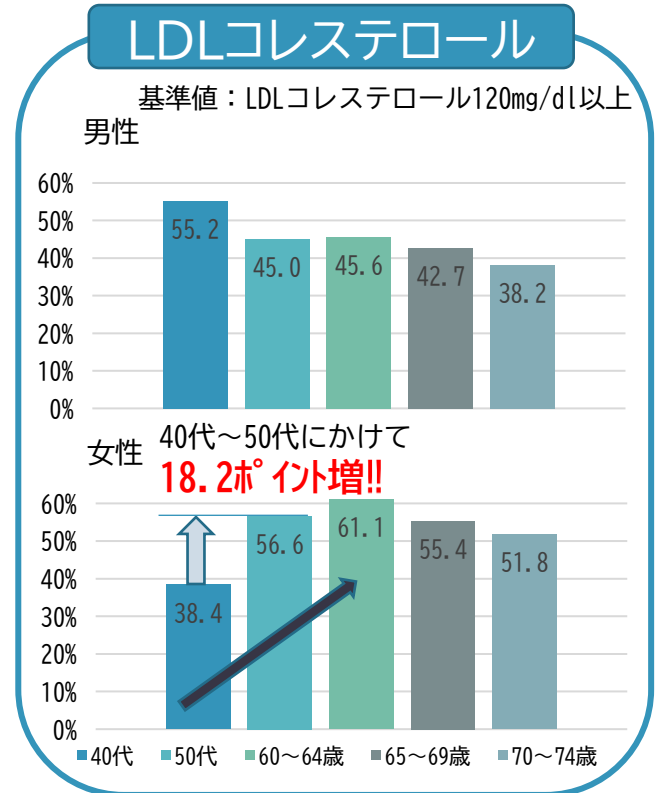
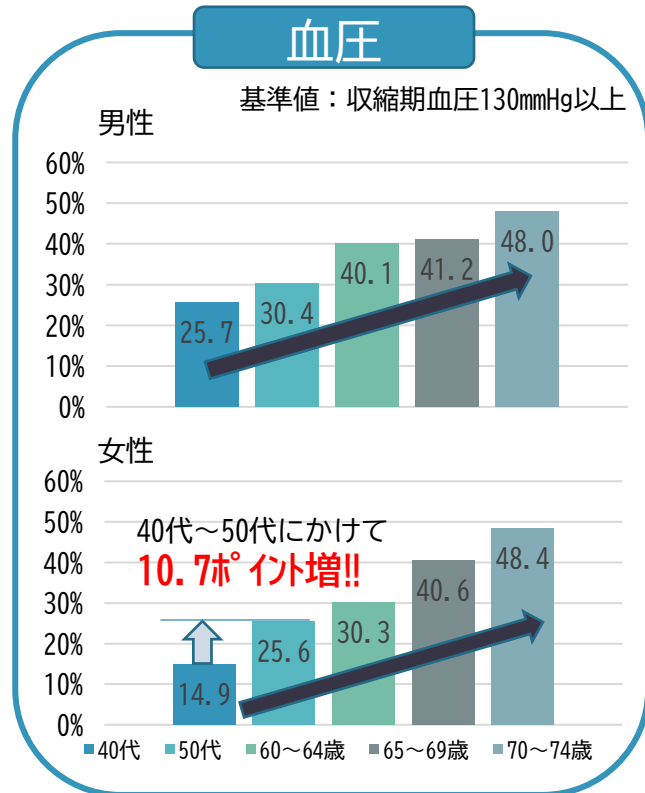
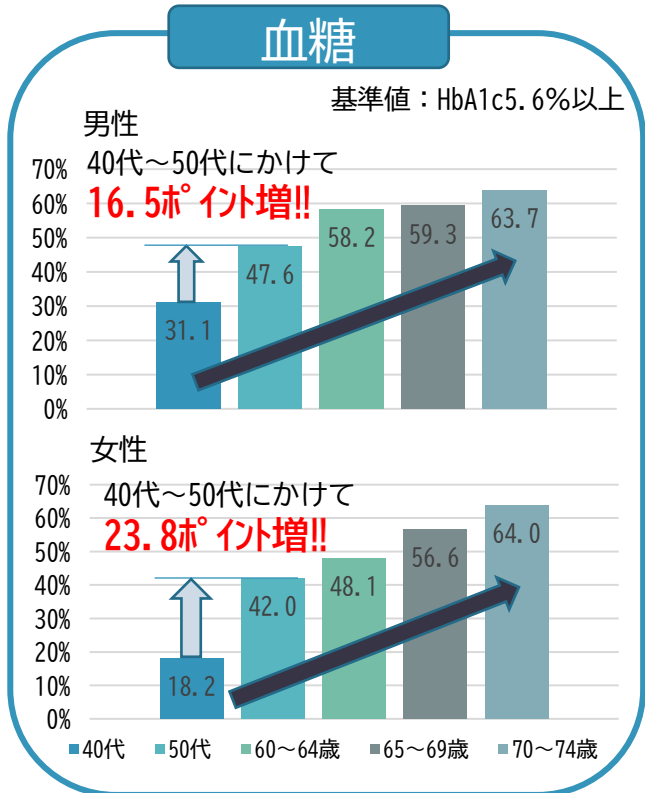
	高血圧		糖尿病		脂質異常症	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
～20歳	0.4%	0.1%	0.4%	0.3%	0.6%	0.8%
30～39歳	2.9%	1.6%	2.3%	1.7%	3.6%	4.1%
40～49歳	10.0%	5.4%	6.2%	3.8%	9.4%	6.7%
50～59歳	19.8%	14.6%	11.2%	7.0%	16.2%	13.6%
60～64歳	31.4%	20.3%	15.7%	7.9%	22.5%	21.8%
65～69歳	37.5%	28.2%	19.3%	12.3%	27.7%	29.0%
70～74歳	44.9%	36.9%	22.7%	15.4%	30.5%	35.6%

年齢と共に増加

国保データベース(KDB)システム
レセプトデータ(令和6年5月診療分)

健診結果の各項目で40代～50代にかけて所見アリの人が増加

○福島市国保特定健診結果(令和6年度)



令和5年度特定健診の受診率は44.3% 年代別では特に40～50代の受診率が低い

○福島市国保特定健診受診率(令和5年度)

	男性	女性	全体
40～49歳	19.5%	24.5%	21.6%
50～59歳	23.5%	31.7%	27.5%
60～64歳	32.5%	44.0%	38.9%
65～69歳	47.8%	53.1%	50.8%
70～74歳	50.9%	55.3%	53.2%
全体	40.2%	47.9%	44.3%

※特定健診結果総括表(令和5年度)

- ・男性と女性では男性の方が受診率が低い。
- ・受診率の目標値である60%には届いていない。

40代～50代は受診率が低い

特徴と課題

- 40歳～64歳の死因は生活習慣病が約6割
- 生活習慣病にかかる人は40代から増え始め、年齢と共に増加
- 特定健診の結果も40代～50代にかけて所見アリの人が大きく増加する
- 40代～50代の特定健診受診率は他の年代と比べて低い



生活習慣病は毎日の積み重ねで予防が可能!
40代からの早めの対策を!

重症化予防には早期発見・早期治療が重要!
そのためにも特定健診の受診率向上を!